

せば

133号にちょっと寄っていきましょ!! (Table of contents)

- ★ 特集 JA長野県グループ「10年後のめざす姿」 (1~4ページ)
- ★ JA洗馬からの 読んでうれしい・見てたのしい 総合情報提供ページ
妙藝山麓から な SEBA なう!! (5~7ページ)
- ★ クリアせばからのお便り・夢ある「農」を目指して~(株)ドリームファーム洗馬の圃場から~ (8ページ)
- ★ ホッと seba (9~13ページ)
- ★ 旬風!! 農産物直売所アピス (14ページ)
- ★ JAからの伝言板
~令和3年度集落懇談会・クミアイ家庭薬をご利用の皆様へ~ (15ページ)
- ★ 理事会よりこんにちは!! (理事会通信) (16ページ)
- ★ 長野県婚活支援センターからのおしらせ
~ながの結婚マッチングシステム「NAGANO ai MATCH」リニューアルと
若者応援キャンペーンのご案内~ (17~18ページ)
- ★ 代表者変更手続きのお願い・季節の室礼・ホッと sebaぷらす (19ページ)



令和4年2月 第133号



広報誌せば SDGsに挑戦中!!

JA洗馬公式HP



(表紙写真: 2022年 洗馬の野菜始動!! ~岩垂地区~)

JA洗馬公式Twitter @seba_noukyo

特集 JA長野県グループ

「10年後のめざす姿」

JA長野県 長期ビジョン

食と農で

地域に笑顔をつくります

～次代につなげる農業・組織・経営基盤の確立～



はじめに

第71回JA長野県大会では、「JA長野県ビジョンの実現に向け、次期3カ年計画を樹立し、新時代へ向けた改革を実行します」を大会決議とし、3カ年計画重点事項に取り組み、自己改革を加速していくことを確認しました。

現代社会はコロナ禍による分断を契機とした価値観の変化と劇的に進展するデジタル化、地球温暖化、自然災害の頻発・激甚化、SDGsをはじめとした持続可能な社会実現への潮流など、まさに時代の転換期にあるといえます。また、農業・地域が取り巻く情勢も、農村部の人口減少・高齢化がすすみ、基幹的農業従事者が減少を続ける中で、中・大規模農業者のシェア拡大もすすんでおり、農業生産構造が急速に変化しています。

このような時代において、JAのみで組合員の多様化・深化する一歩にこたえることは難しく、農業と地域を支える様々な組織・団体・企業等との協働・共助のもとで、様々な情報技術を活用して新時代を切り拓くことが求められています。

これらの情勢・課題をふまえ、第72回JA長野県大会では「10年後のめざす姿」を提起するとともに、中長期（10年後）を見通して重点的に取り組む方向を整理しています。

また、「10年後のめざす姿」の実現に向けて、JAグループとして取り組む方向性を「食と農で地域に笑顔をつくります」というビジョンに表し、副題「3カ年計画テーマ」には、農業・地域・JAが劇的に変化する新時代に対応してさらに発展していくことを示す「次代につなげる農業・組織・経営基盤の確立」と表します。

本ビジョンは、「10年後のめざす姿」の実現に向けて、同じ方向に向かうための羅針盤です。

JA長野県 長期ビジョン

食と農で 地域に笑顔をつくります

～次代につなげる農業・組織・経営基盤の確立～



JA長野県グループは、平成30年度に開催した第71回JA長野県大会において、JA長野県ビジョン「食と農で地域に笑顔をつくります」新時代へ向けた改革の実行」の達成に向けた2019～2021 3カ年計画重点事項」を策定し、農業生産基盤の強化による産地の維持」組合員とJAのつながり強化」総合事業を支えるJA経営基盤の確立」に継続して取り組んでいます。

しかし、農業の国際化、高齢化の進展と人口減少社会の到来はもちろん、あいつぐ自然災害による農畜産物・農業施設等への被害、新型コロナウイルスの影響による業務用・イベントなどの農畜産物需要の減少など、農業・組織・経

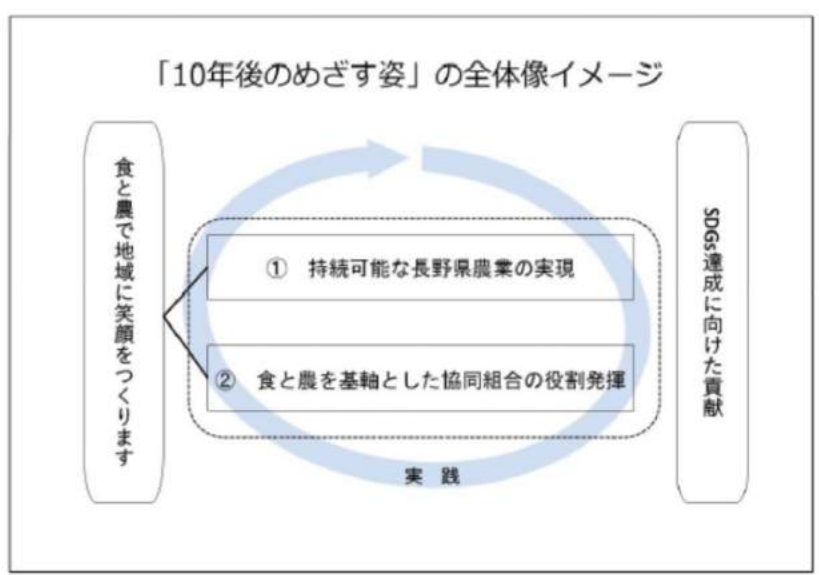
営基盤すべての面への影響が継続している状況です。

厳しい環境変化の渦中であり、組合員・役員・地域に閉塞感が強まっていますが、人々の命の源である「食」と、その「食」をつくる「農業」を起点として、2030年（10年後）のJA長野県の「めざす姿」を描き、「めざす姿」から「いま」を考える思考により、中長期（10年後）を見通して重点的に取り組む方向を共有します。そして、組合員・役員・地域住民みんなに笑顔が生まれている「活性化している」状態をつくりたいと考えます。前回大会時にJA長野県ビジョンを決定し、その後、大きな方向転換はないことから、現行のJA長野県ビジョンを継続することとなりました。

前回3カ年計画検討時には、持続可能な開発目標（SDGs）達成に向けたJA長野県としての行動は盛り込みませんでした。今回の検討においては、JA長野県グループの10年後の「めざす姿」とSDGs達成に向けた期限が2030年と同一であること、そして、協同組合の思想としてSDGs達成に向けた貢献が盛り込まれていることから、県内各JAの3カ年計画実践を通してSDGsに積極的に取り組むこととします。事業計画の中でSDGs達成に向けた貢献を意識する。

また、新型コロナウイルスによる**社会と経済の歴史的大転換期を乗り越え**、次の10年に向けた新たな一歩を踏み出すという決意を込め、3カ

年計画のテーマとして、「次代につなげる農業・組織・経営基盤の確立」を設定します。



今後とも組合員の声を聴き、「**不断の自己改革**」を通じて、**農業・地域の展望を力強く切り拓きます。そして、組合員と地域にとって「なくてはならない存在」であり続けるため、次の10年に向かって挑戦する「めざす姿」を改めて提起します。**

「10年後のめざす姿」実現と「SDGs達成に向けた貢献」

農業・組織・JAの各事業・活動を通じて

SDGs達成に向けて貢献する…とは

SDGsの中には、「協同組合の思想がちりばめられている」、あるいは「協同組合の定義・価値・原則の中にSDGsを先取りした考え方がいくつも埋め込まれている」、ととらえることができます。したがって、10年後のJA長野県グループの姿、「①持続可能な長野県農業の実現」「②食と農を基軸とした協同組合の役割発揮」が実現できるよう、様々な施策を実践することを通じて、JA長野県グループとしてのSDGs達成に向けた貢献をおこないます。



JA長野県グループのめざす姿(10年後)

持続可能な長野県農業の実現



組合員がJAの購買・販売・営農指導事業を利用し、農業で所得を上げ、販売代金がJAの貯金口座に入金され、共済掛金やくらしの資金の原資になるというJA事業の基本循環をきちんと回していくため、原点である生産拡大に取り組みます。

大規模農家層の経営発展がなければ農業は産業として成立せず、かといって中～小規模農家がいなければ、農地の維持管理も難しくなり多面的機能の発揮が出来ません。JAグループにおいて、大規模～小規模のあらゆる農家層へそれぞれのニーズに合った支援を実施し、経営向上や生きがいづくりを図るとともに、地域の様々な農家層が相互に認め合い連携をする農村コミュニティ（プラットフォーム）を構築することで、持続可能な農業や産地の維持をめざします。

バックカスティングとは…

現在から未来を考えるのではなく、「未来のあるべき姿」から「未来を起点」に解決策を見つける思考法

バックカスティングによる各期間の到達水準

令和2年度実績 (基準)	(令和4～6年) 令和6年度末の 到達水準	(令和7～9年) 令和9年度末の 到達水準	(令和10～12年) 令和12年度末の 到達水準
県下販売農家戸数 34,747戸	34,000戸	34,000戸	34,000戸
県下販売額 1,548億円	1,600億円	1,660億円	1,760億円
県下直売所等 329億円	355億円	390億円	427億円

※販売農家戸数: 販売金額10万円以上の担い手農家数

販売額 : 販売額10万円以上の合計金額(販売共計システム)

直売所等: 販売額10万円未満および直売所出荷者等の合計金額((到達水準は30%UPで仮置き)

食と農を基軸とした協同組合の役割発揮



地域農業、地域社会がともに危機を迎えているなか、JAグループ単独で十分な役割を發揮することはできません。「地域共生社会の構成員」と連携しながら、「食」と「農」に関し、「地域に根ざした協同組合」としての「責任をはたすこと」で、持続可能な地域社会・農業の実現をめざします。

また、地域において、農業協同組合として総合サービスを提供することが、JAグループの大きな役割です。その役割を發揮するためには、厳しい将来見通しのなかでも、JAグループが健全な経営を前提に信頼を高めることで、「次世代」の組合員とともに永続的に「存立」することが不可欠です。

バックカastingによる各期間の到達水準

(令和4～6年) 令和6年度末の到達水準	(令和7～9年) 令和9年度末の到達水準	(令和10～12年) 令和12年度末の到達水準
長野県民の16.5%が組合員 になっている	長野県民の18%が組合員に なっている	長野県民の20%が組合員に なっている

(令和2年まで実数、令和7年・令和12年の人口は国立社会保障・人口問題研究所の推計、他は中央会予測)

年度	長野県人口(人)	県下合計組合員数(人)	組合員割合(%)
令和2年(基準)	2,037,622	317,650	15.6
令和6年	1,973,924	325,698	<u>16.5</u>
令和9年	1,926,000	346,680	<u>18.0</u>
令和12年	1,878,000	375,600	<u>20.0</u>

JA洗馬は、何をめざすのか？

JA長野県グループのビジョンを基本に、JA洗馬は10年後「何をめざし」、それを起点に「何をすべきか」。現状、洗馬地区の農業・農村・地域コミュニティ、そして産地としても課題が残るなかで、「地域になくしてはならない農業協同組合」としての真価が問われようとしています。これらは、単に役職員だけが考えるのではなく、農業協同組合の主人公たる「組合員」が「自らが誇りとする農業・農村のため」に自主自立と民主的運営の基本に立ち、共に考え、行動していただきたい部分でもあります。

めざすゴールを明確にしながら、「今立ち上がらなければ…」「今行動を起こさねば…」

10年後、JA洗馬が「食」と「農」を基軸に、地域社会に貢献できる組織として永続的に「存立」していくには、役職員そして何より組合員お一人お一人の意識と行動、そしてその結集にかかっています。

「～行動なくして意識の向上なし～ 課題を乗り越えるため洗馬の力を結集する時期がきています」

JA洗馬では、次期3カ年計画を中堅となる職員が原案作成しております。今後も組合員様のみならず、地域の皆様とも10年後を見据えた建設的且つ熱のこもったお話し合いができること、またそれが「行動」へとつながることに期待しております。

妙義山麓から

な



SEBA



なう!!

アオキの「**今月この処方箋**」

～信用・共済情報～

担当：共済課 青木 聡司

JA共済からの **お知らせ** です!

自動振替不能等の理由で、共済掛金のコンビニ振込用紙がお手元に届いた場合、JAのATMまたはネットバンクでもお支払いができます

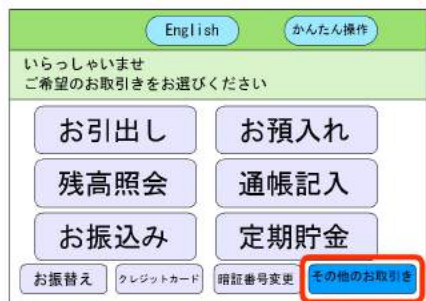
三菱UFJニコス株式会社PR 払込取扱票

通常払込掛金
加入者負担

口座記号 番号	×××××-×-×××××	金額	××,×××円
収納機関 番号	×××××	お客様 番号	××××× ××××× ×××××
受取人	×× ××××××	払込取扱票 使用期限	令和××年××月××日

〈入力する項目〉
・収納機関番号
・お客様番号
・確認番号

◇ATM画面の「**その他のお取引**」を選択し、画面の案内に従い操作してください。



詳しくは・・・
金融部共済課
電話 53-5123
まで

こうほうけいざいぶ

今シーズンの野菜栽培がスタートしました。
いよいよ今月から、定植作業がはじまるという
農家の皆さんもいらっしゃるかと思います。

タネが微妙に足りない・・・
培土が微妙に足りない・・・
自家用に少しだけ蒔きたい・・・

そんな時に!

ぜひ『JAの種まき』をご利用ください。
タネを1缶買わなくても、培土を買わなくても
トレイ1枚300円台(※)から
農家の皆様にかわって「種まき」させていただきます。
トレイに培土のみを詰めた状態でのお渡しも可能!
※トレイ持込の有無・品種による

担当：生産資材課
上條 千秋

お問い合わせは・・・ 営農指導課 (電話 52-4476)

妙義山麓から

な



SEBA



なう!!

俺たちの一品

～農機・自動車情報～

担当：生活課 清水 直幸

ECHO イナズマバリキ50V めるいパワーで、満足しない。

2022 ワンモア キャンペーン **バッテリー**

大好評の50Vバッテリーツールに交換用バッテリーがもう一つ付いたお得なモデルが登場!

連続作業時間がさらに長く! 同シリーズの他ツールにも使える!

期間限定! 2022年1月1日～4月30日まで

50Vハイパワーバッテリー 低騒音・低振動・排ガスゼロ
ランニングコスト削減 簡単・快速操作

ECHO ハイパフォーマンス36V 軽ワザ・機敏

2022 ECHO36V プラスワン キャンペーン

今だけ! 予備バッテリーが付いたモデルがお買い得!

期間限定! 2022年1月1日～9月30日まで

作業時間に余裕がもてる 予備バッテリー付モデル

一例ご紹介



BCS510T/20HC25B
1Pバッテリー(2個)・充電器付属
25AP+カッピングバー

希望小売価格(税込)
¥90,200



BCS310/S+1
バッテリー2個・充電器付属
ガイドバーサイズ*:30cm

希望小売価格(税込)
¥48,950

お問い合わせは... [生活課 農機部門 \(電話:54-2471\)](tel:54-2471)

黒ちゃんの たまには寄り道



冬道の塩カルからあなたの大切なお車を守る!

下部洗浄をおススメします!!

生活センター隣接のJA洗馬自動洗車機をご利用くださいませ。
冬期は拭き取りタオルなどをご持参ください。

更に!!

洗車カード販売中
お買い求めは
ガソリンスタンド
電話52-2542まで

燃料高騰につき、生活応援キャンペーンを2月に実施! 詳しくは広報誌と一緒に配布したチラシを見てね!



灯油をホームタンクから、ポリタンクや暖房器具のタンク等へ
移し入れる際は、何があってもその場を離れないように心がけてね!!



使っていない部屋の照明や暖房器具はこまめに消して、
電気代節約&CO₂削減を!!



寒い冬、お風呂に入る前に脱衣所を十分温めてから
入浴しましょう。ヒートショックに注意してね!!



暖かい服装を!

担当：生活課

黒田 寿子

妙義山麓から

な



SEBA



なう!!

頭の柔軟体操
3か所の
まちがいに気づくかな？

今回の撮影 JA洗馬本所
初貯金だるま

正

誤

担当：総務管理課 竹原恵理香

132号の答えはここ ↓



本コーナーは洗馬地域限定情報のため、
ホームページ版への掲載を割愛させていただきます。
～JA洗馬広報事業検討会議～



クレアせばからの便利



クレアせばに、今年の干支『寅』
の飾り絵が仲間入りしました！



手作りのクレア神社
利用者様の願いを
絵馬にこめました。
皆様が今年一年
健康で過ごせますように。

コロナウイルス インフルエンザ ノロウイルス

ご注意ください!!

地域の皆様もしっかり感染対策を行い、元気にお過ごしください。

お問い合わせ・ご相談などいつでもお待ちしております。

クレアせば・JA洗馬居宅介護支援事業所

担当：福祉介護課

電話：50-6177

奈良井 かおり・味澤 京子



夢ある「農」を目指して



株)ドリームファーム洗馬の圃場から

株式会社ドリームファーム洗馬は、JA洗馬100%出資の子会社です。

県内でも有数の葉洋菜生産量を誇る洗馬地区

農産物の生産及び販売、農業経営者の人材育成、食農教育や体験農業などを通じて

洗馬地区の農業発展を目指しております!!

種まき始めました!!

コロナも終息の兆しを見せぬ中、2022年が始まってしまった! 例年通りレタスの種まきから始まったのだが、今年はボス(代表取締役)の一言で、1月の大安に播種初めとなった。

「毎年いつ播種する」という決まりはないが、昨年から機械を借りてソイルブロック(混合培土を練り固め、ブロック状にしたもの)による播種を始めた。これがなかなか修練を要する作業である。昨年は、早々と二月には植え付けが始まり、順調にスタートかと思いきや、出荷頃には降霜に悩まされた。「今年は良い年になりますように」と願う播種初めであった。

ドリームファーム洗馬 寺澤 英明



発芽したばかりのレタス
【品種名：ウィザード(ビクトリア)】

農業に興味がある方・お仕事をお探しの方・収穫体験などのお申し込み、お問い合わせは…

株)ドリームファーム洗馬 代表取締役 寺澤 武憲 まで 電話：52-0108 (JA洗馬代表)

「エコと地域にやさしい活動を通して「なくてはならないJ.A」に貢献
J.A洗馬女性部 エコ石鹸、フラスワー加湿器などを作成・販売



J.A洗馬女性部は11月4日木曜日に、廃棄してしまう家庭用の食用油を原料にしたエコ石鹸づくりを行いました。長年女性部活動として取り組んできたエコ石鹸づくりは、昨年はコロナ禍により中止となりましたが、今年こそはと役員数名が集まり、約280個の石鹸を作成しました。

石鹸の材料となる廃棄してしまう食用油は、部員同士が声を掛け合いながら集め、さらに不足する分は、知り合いの飲食店にも提供の協力をお願いしました。

女性部は、この日作ったエコ石鹸のほか、9月頃から手作りのフラスワー加湿器やオリジナル手ぬぐい帽子も、多くの部員協力のもとに作成してきました。

女性部長の塩原はるみさんは、「JA祭で販売しよう」と計画していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、JA祭が中止となってしまい、役員全員で検討した結果、今回は洗馬地区内に注文書を配布するこ



エコ石鹸はとてつつかいやすく人気です



11/26販売の様子 フラスワー加湿器に囲まれて

とに決めた。そうしたなか、地域の皆様からたくさんのご注文を頂いたことに感謝したい。女性部では、活動を通じて、環境への配慮と地域コミュニティへの貢献を意識しており、このような活動が、少しでも地域とJAをつなぐ架け橋となれば」と話しました。

11月26日金曜日と27日土曜日には、生活センター事務所内において、注文をい

ただいたお客様へ商品のお引渡しを行ったほか、農産物直売所アピスにご来店下さったお客様にも販売しました。取材をさせていただいた26日、店頭で販売担当を行っていたのは、女性部下小曾部支部の寺澤千恵さんと寺澤久美子さん。お二人からは、「石鹸づくりはコツがあつて難しかったが、上手に作れてよかった。会員全員に声を掛け合つて取り組めたことがよかったし、買ってくださった皆様にも感謝したい。人と人とのつながりがとても楽しいので、交流を深めながら活動の輪を広げていければ」と活動に対する感想をいただくことができました。

洗馬の野菜販売を振り返る

令和3年度野菜販売反省会を開催



11月19日金曜日、県内外の取引市場の代表者や全農長野中継事業所の担当者、生産者である各地区の出荷組合の役員、JAの関係役員が出席し、「令和3年度野菜販売反省会」が開催されました。

生産者にとってこの反省会は、大切に育てた野菜がどのように流通されたか知ることができるともあり、全農長野の担当者からは、今年度の野菜生産販売の経過や実績だけでなく、全農長野が企画実行した野菜消費宣伝の各種キャンペーンや量販店での陳列の工夫などが、写真付きの資料で報告されました。

また、市場の代表者達からは「洗馬産野菜の品質の良さは洗馬ブランドとして高く評価されている。市場もこの新鮮さをアピールして販売に努めます」と力強い言葉を掛けていただきました。

令和3年は、4月初めの凍霜害、夏の長雨とゲリラ豪雨などの自然災害や、資材の高騰に悩まされましたが、管内の野菜販売高は前年を上回り、反省会の時点で、果樹を合わせると計画達成が目前に迫るところまで推移しました。北沢泉代表理事組合長は会議の冒頭の挨拶で「コロナ禍もあり今年も農家にとって困難な状況ではあったが、一人一人の努力と生産技術で乗り切り、組合員の農協結集で大きな実績を上げることができたと生産者を称えました。」



全農長野担当者の説明を熱心に聞く参加者

信頼されるJAづくりをめざして

職員コンプライアンス研修会を開催



11月25日木曜日、正職員と金銭を扱うパート職員を対象としたコンプライアンス（法令遵守）研修会を開催しました。

この研修会は、毎年職員全体で法令遵守について再確認しているもので、今年はJA長野中央会中南信事業所から講師を招き、講義を通して不祥事の発生防止や個人情報保護について意識向上を図りました。

また、近年コロナ禍で心の健康状態やストレスについて全国的に問題になっている状況を踏まえ、今年は「ストレスマネジメント」を学ぶために、研修会の中で関連するDVD視聴を行いました。職場では仕事量や負荷の増加、上司・部下のコミュニケーション不足がメンタルヘルスに不調をきたす原因となることが多く、DVDでは、なぜコミュニケーションが大切なのかや、コミュニケーションの難しさ、負のスパイラルに陥ってしまったときの対処法などが紹介されました。

職員はこの研修の中で、相手の心の痛みを相手の基準で認めてあげることや、自分に共感してくれる人を持つことの大切さと、セルフケアの方法を学びました。



信頼されるJAづくりに向け、大切なことを学んだ職員

SDGsを意識して 令和3年度不要農薬・

使用済み農薬空容器回収



12月8日水曜日、令和3年度不要農薬・使用済み農薬空容器の回収を本部予冷库東側駐車場にて行いました。

JAでは長年続けられている活動の一つではありますが、昨今のSDGs（国連で採択された持続可能な開発目標）への取り組みが加速し、注目されつつある中、JAグループでも改めて重要な取り組みと位置付けています。

この日は密集と混雑を避けるため、午前の部・午後の部と地区を分散させて実施し、洗浄処理された空容器や使用期限が到来した農薬などを適正に処理してもらおうと、朝から多くの農家の方が持ち込みを行いました。

この取り組みに対し経済部次長の岩垂徹さんは、「持続可能な農業・農村維持のためにも、包装容器や使用できない農薬の適正処理を実施していくことは、JAグループの責務と感じる。SDGs17のアイコンのうち、特に「つくる責任つかう責任」を意識した環境への対応と考えている。農家の皆様にも質の高い農産物生産の一助になれば」と話しました。

JA洗馬では、毎年4月と12月に農業用廃プラスチック回収も行っており、農家の皆様お一人お一人にも、環境配慮への取り組みのきっかけにしたいだければと考えております。



責任ある農業への取り組みが重要です

地域と組織の活性化のために一歩踏み出す

JA洗馬女性部

読書ボランティア講座を受講



JA洗馬女性部は12月8日水曜日、地域振興課が事務局となった「第18回家の光読書ボランティア養成講座」を受講しました。

今回はオンラインによる開催となり、「読み聞かせの初歩」と題し、本の読み聞かせに強く関心を抱いた有志の部員9名が参加くださいました。近年、全国的に子どもたちの読書離れが進み、さらにはコロナ禍によって人と人とのつながりが薄れつつあるなか、JAは、女性部がこうしたコミュニケーションを伴った活動を実行に移し、次世代に食農教育や助け合いの心を広げることと、「なくてはならないJA」として地域の活性化を目指す一翼を担ってほしいと期待しています。

参加された皆様は、読書アドバイザーによる「読み聞かせ」の技術と開催方法、絵本の選び方についての講座と、「ブックトーク」という、相手に本の表紙だけ見せてその本の面白さをポイント的に伝え、本選びのお手伝いをする方法を学習しました。本には言葉以外にも作者ごとの表現が隠れていることや、「読み聞かせ」には様々な技術が必要なことを知り、驚きの表情を浮かべていました。JAでは、今後も仲間づくりと組織の活性化のために一歩を踏み出す取り組みを応援して参ります。



参加された女性部有志の皆さま まず一歩踏み出そう！

地域の農業を守るため

果樹生産者による樹園作業

- 1 1月 1日 1月1日
- 2 2月 1日 2月1日
- 3 3月 1日 3月1日
- 4 4月 1日 4月1日
- 5 5月 1日 5月1日
- 6 6月 1日 6月1日
- 7 7月 1日 7月1日
- 8 8月 1日 8月1日
- 9 9月 1日 9月1日
- 10 10月 1日 10月1日
- 11 11月 1日 11月1日
- 12 12月 1日 12月1日

洗馬管内太田地区では、毎年冬になると果樹生産農家数名が集まり、剪定作業や果樹棚の新設、増改築作業などを請け負い管理しています。

野菜産地で有名な洗馬地区ですが、太田地区は国内でも有名な桔梗ヶ原ワインバレーと隣接していることから、JAに出荷される梨や桃、大粒ブドウなどのほか、醸造用ブドウ生産も盛んな地域。

しかし、近年生産者の高齢化や兼業化とともに、冬の剪定作業や専門知識を有する棚の新築、増改築作業が困難となる世帯もあり、農家グループによるこのような取り組みが、地域の農業生産を支える頼もしい存在となっています。

グループ代表の塚原敏文さんは、「メンバーは20代から70代の農家で構成されており、剪定作業や果樹棚の作り方など、ベテランから若手に技術を伝授する場としても一役買っている。幅広い世代間の交流を通して、地域の農業生産を守りながら、これからも農家同士の繋がりを大切にしていきたい」と話しました。



熱心な作業風景に農家の心意気を感じました

気持ちを新たに令和4年がスタート

JA洗馬 新年仕事始め

JA洗馬は仕事始めとなる1月4日火曜日、役職員が出席し、本所で新年役職員顔合わせ式を開きました。

北沢泉代表理事組合長は、年頭挨拶で「なくてはならないJA」「信頼できるJA」を掲げ、職員に対し「令和4年は、次期3カ年計画が始まる大事な年。徹底したサービスを提供していくためには職員一人一人の努力と協力が必須。自ら気付いて行動してほしい」と呼びかけました。

また、役員には、地域発展のために各地区組合員の意見を吸い上げるよう要請しました。

式では北沢組合長をはじめ、役員と各課の代表がだるまに目を入れ、JAと地域の発展を祈願いたしました。



令和4年の平和とご多幸を祈念し入魂する北沢組合長

「食」と「農」を次の世代へ 食農教育リーダー研修会を開催



1月11日火曜日、食農教育リーダーとしてスキルアップを図る「令和3年度全国JA家の光食農教育リーダー研修会（オンライン）」を開催しました。

地元の小学生と特産のレタス栽培体験学習を通して交流があるJA女性部と洗馬地区の農業生産を守る青年部に加え、今後の食農教育活動で積極的な連携を図るため、生産者直売部会と農産物加工部会の役員を招集し、関係職員と合わせ、11名が受講しました。

講演・講義は、分野が違う5名の講師によって行われ、参加者は、マンネリ化を防ぐ食農教育の企画づくりや食農教育動画制作の



熱心に講義を受ける参加者 食と農を次世代に!!

ポイント、みそ玉づくり、子どもの心をつかむレクリエーションを学びました。

研修会の最後には、主催部署である地域振興課長の塩原貴光さんが、「組合員や地域住民とのつながりを強化し、地域産業をさらに盛り上げていきましょう」と各部署の積極的な参加を呼び掛けると、生産者直売部会長の北沢豊さんは「課題はあるが、私たちの部会でも食や農業について伝える活動を検討していきたい」と話しました。

令和4年の農産物生産・出荷にあたり 栽培講習会を各地区で開催



年明け1月、洗馬地区内各出荷組合で、令和4年度野菜栽培講習会・果樹栽培講習会が開催されました。

コロナ禍により昨年は実施できず、各農家への個別指導という形で開催した講習会ではありますが、本年はWithコロナの状況下、JA洗馬としての責務をどのように全うできるか検討。事前にマスク着用による参加呼びかけを行ったほか、当日は時間短縮を心掛けながら、手指消毒や参加者全員の体温測定を実施するとともに、健康状態確認書を記載提出していただくなど、入念な感染予防対策を行ったうえで開催しました。

講習会では、令和4年度の主要品目に対する栽培管理や高温多雨など厳しい自然条件下に負けない栽培方法を確認。更に、令和4年度の販売情勢や出荷時の重要点、コロナ禍や原油高騰に端を発した高騰する生産資材情勢などの報告も行いました。

また、果樹栽培講習会では、毎年恒例となる大粒ブドウの現地剪定講習会も併せて開催され、出席した生産者の皆様は、剪定のポイントを再確認していました。



野菜栽培講習会の様子（岩垂地区）



ブドウ剪定講習会の様子（太田地区）



旬風

農産物直売所アピス

一家団欒のひとときに
みんなが集うひとときに

JA洗馬の祭典特選料理で
にぎやかに!!

**刺身皿・オードブルなど
随時受付中!**

このほか、折詰料理などのご相談も承っています。地区の
会合やご家族のお集りなどございましたら、是非ご用命く
ださい。

**1月配布チラシでご案内のパン・麺類
ご注文承り中!**

原料の小麦粉が高騰しており、4月からパンや麺類のお
値段が上がります。パンはハウス仕事のお茶菓子として、
ラーメン(乾麺)などは鍋料理の締めなどにもぴったりです。

各種ご注文は・・・

生活課(農産物直売所アピス) TEL54-2302

お味噌のご注
文も、お待ち
しています!



旬の農産物情報

夏場に出荷される農産物のように種類は多くありませんが、
ビニールハウスで栽培された「地元産ほうれん草」が入荷して
います。厳しい寒さの中、生産農家の方が手間暇かけて育てた
旬鮮野菜です。冬ならではの甘味ものっており、定番のおひた
しやソテー、卵とじなどにしてお召し上がりください。



おすすめの一品!!

信州田舎風みそ汁

1袋50食入
1,000円(税込)

お湯さえあれば超簡単!

フリーズドライ製法で作った
即席みそ汁です。即席とは思
えない深い味わいです。お弁
当に添えたり、畑に持って
行ったり…。時間と場所を
選ばない納得の一品です。



**スタッフの
つ♡ぶ♡や♡き**

暦の上では立春を過ぎましたが、ま
だまだ寒い日が続きますので、皆様
におかれましては、お風邪など召されま
せんよう、健康管理には十分ご留意く
ださい。

冬期のため、棚に並び農産物の種類
は少ないですが、手作り加工品ほか隠
れた一品を探しにお出かけください。

担当：伊沢 智

生産者直売部会員さん随時募集中!!

各種お申し込み・お問い合わせは・・・
生活課 電話：54-2302

月曜～土曜日
日曜定休日

農産物直売所アピス

AM9:00～PM5:00まで営業中
毎週土曜は特売日!! ぜひ来てね!!

JAからの伝言板



令和3年度集落懇談会



開催日：令和4年2月16日（水曜日）午後2時00分～

場 所：JA洗馬本所2階会議室（出席者制限あり）

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、今回はJA洗馬各組織団体の団体長様のみご出席いただき開催いたします。本来であれば多くの皆様にご出席いただき、建設的なご意見を頂戴したいと考えておりましたが、ご賢察の上、何卒ご理解賜りますようよろしくお願いいたします。

会場は、マスク着用、手指消毒、検温、健康管理シートの記入、定期的な換気、ソーシャルディスタンスといった対策を徹底いたします。

また、時間短縮を図る中、例年実施しておりました「地区別分散会」は中止とし、必要最低限の会議事項のみで開催いたします。

クミアイ家庭薬をご利用の皆様へ

日頃は、クミアイ家庭薬をご利用いただき、誠にありがとうございます。

さて、全農長野県本部では、令和4年4月1日に家庭薬事業を、クミアイ家庭薬製造元である協同薬品工業（株）に事業移管することになりました。

ただし、4月1日以降もクミアイ家庭薬の配置員が順次巡回し、薬箱の点検や補充を行います。配置先の皆様には「クミアイ家庭薬」を引き続きご利用いただけますので、一層のご愛顧をお願いいたします。

なお、従来どおりJA口座からの代金振替をご希望の皆様には、改めて口座振替依頼書のご提出が必要となります。4月1日以降の巡回時に、各配置員から、その他詳細も含めて説明させていただきますので、よろしくお願いいたします。

ご不明な点がございましたら、以下までお問い合わせください。

今後とも、「クミアイ家庭薬」をお引き立ていただきますよう、お願いいたします。

全農長野県本部生活部生活課（長野県クミアイ家庭薬協議会）

電話：026-236-2256【土日祝日除く午前9時～午後5時】

【ご報告】令和3年度 冬期健康講座について

1/13（木）～15（土）と2/3（木）～5（土）に開催を予定しておりました青年部・女性部共催の冬期健康講座ですが、県内において、新型コロナウイルス感染拡大が進む中、地域内の感染リスク低減を図るため、開催日程や内容を変更し、事前に参加申し込み下さった方のみ、受講対象とさせていただきますので、何卒ご容赦願います。 地域振興課

今 後 の 予 定

2/ 8（火）～10（木）：税務相談会 2/16（水）：令和3年度集落懇談会（出席者制限あり）

2/28（月）：令和3年度決算棚卸・2月定例理事会

※ 新型コロナウイルス感染症拡大状況により、各会議・行事等の日程や内容が変更または中止となる場合がございます。今後JA洗馬から発信される最新情報にご注意願います。

理事会より こんにちは!!

広報誌にてご案内しております「理事会よりこんにちは!!」のコーナーです。

毎月定例開催しております理事会から、組合員の皆様や地域の皆様に「お伝えしたい内容」「ご理解いただきたい内容」をピックアップしてお届けしております。

尚、議事録詳細につきましては、理事会議事録閲覧要領に基づき閲覧申込を行うことが可能です。

★ 12/21 (火) 理事会より ★

ピックアップ1

役員任期と理事の選出方法について

J A洗馬では、現在理事と監事の改選期が1年ずれており、このような状況は県下J AでもJ A洗馬のみとなっております。

理事の定数や選出方法等については、定款はじめ関係諸規程で定められている中、今後「どのような方法で任期の調整を行いながら、理事と監事の改選期を同じくしていくか」、更には「様々な要件により、区域枠（洗馬地区内各地区枠）から理事候補者の選出が難しくなることが想定されたり、規則に準拠した適格者の選出が難しい場面が生じた場合、どのような調整が可能なのか」を、J A長野中央会や長野県農政部とも検討協議しながら進めて参ります。

理事会としてもスムーズな役員選出が行えるよう、関係諸規程の見直しや体制整備に向け、継続審議していくことを確認しております。

★ 1/27 (木) 理事会より ★

ピックアップ2

令和3年度生産販売ビジョン実績見込み

および4年度実践方針について

J A洗馬の農業振興と、農産物生産出荷拡大を目的に取り組んで参りました、「令和3年度生産販売ビジョン」に基づく各支援事業について、まもなく年度末を迎えるにあたり、今期の実績見込みを理事会へ報告し、支援事業の目的と効果を検証しました。

令和3年度は、凍霜害や長雨といった過酷な気象条件の下、更にコロナ禍という厳しい社会・経済環境の中、農産物出荷に貢献下さった全ての組合員農家の皆様に敬意を表すとともに、土づくり事業では、稲わらや堆肥等の購入費に対する助成約130万円ほか、産地としての生産基盤維持拡大のためにレタス出荷栽培者に対する種子代助成や出荷奨励に約720万円、生産安定化のための土壌検査代および保温被覆資材の購入費、生分解マルチ購入費の助成に約130万円、新規就農者準備金や新規就農者の農機具購入費助成に約190万円、その他助成を含めて、総額約1,270万円を直接支援することで承認しました。

また、令和4年度実践方針では、次期3ヵ年計画との連携を図るため、既設事業の一部見直しを行うとともに、農家所得向上対策として、高騰する化成肥料（複合肥料）の購入助成を新設。更に、高校を卒業し、就農目的として農業関連の大学や専門学校などに進学した場合、その時点で50万円を補助。また、その学校を卒業して就農した場合、追加で50万円を補助し、合計100万円の支援を行いながら、新たな新規就農者、後継者の確保を行う事業を決定しました。令和4年度生産販売ビジョン詳細につきましては、今後経済部から発信される営農技術情報に掲載するほか、本広報誌4月号にも掲載予定です。

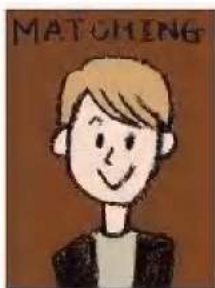
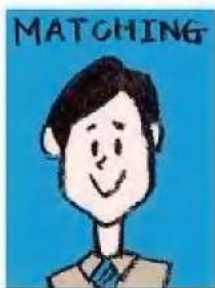
組合員農家の皆様には、引き続き「農産物の総合産地—洗馬—」のブランド力、販売力強化のため、そしてご自身と次世代後継者の活力ある農業経営の一助として、本ビジョンによる各種支援を役立てていただければ幸いです。



市町村等の結婚相談所が出会いをサポート

ながの結婚マッチングシステム

NAGANO ai MATCH



スマホ・PCから

いつでもどこでも

気軽に利用

相性の良いお相手を

AIマッチングで

ご提案

※初回登録のみ、お近くの結婚相談所へ御来所が必要になります。県内43か所の相談所は下記QRコードから御確認ください。

若者応援キャンペーン実施中

34歳までの方



長野でみつける、“未来のコンビ愛”



しあわせ信州

お問い合わせ

長野県婚活支援センター

☎026-235-7373

✉konkatsu@pref.nagano.lg.jp

本システムは長野県若年世代応援関係会議（事務局：長野県観光文化振興課）が運用しています。



素敵な出会いには、あなた自身の一歩が必要です!!



NAGANO ai MATCH

もっと便利にリニューアル!

若者応援キャンペーン実施中

34歳までの方

3,000円で1年間利用できます。
今なら先着100名様6カ月間無料!



※通常、登録料10,000円(2年間) ※別途相談所の登録料がかかる場合があります。

登録からご成婚までのながれ

システムの利用には、公的結婚相談所への登録が必要です。
公的結婚相談所の相談員があなたの出会いをサポート。

1 仮登録(来所予約)

スマートフォン等から
仮登録をして、
本登録を行う
結婚相談所
への来所予約を
しましょう。



2 本登録

必要書類を持って
結婚相談所に来所し、
自分のプロフィール
や相手への望むことなどを
登録しましょう。



自分のプロフィールを考えてきてね

3 お相手探し

さあ、お相手探しをしま
しょう。気になるお相手
にお見合い申込みもでき
ます。活動内容に応じてAI
が、あなたにあった人
をご提案します。



5 交際スタート

お互いの意思確認が
出来たら相談員を通
して名前と連絡先を
交換し、交際が
スタート!



4 お見合い

お相手とシステム上で
日程を調整し、
約束した場所
でお会いします。
この段階では、
お相手の名前、
連絡先はお伝え
しません。



6 ご成婚

ご結婚が決まりましたら、
相談所にお知らせください。

季節の室礼 (しつらい)

ひな祭り

和文化講師 ● 滝井ひかる

3月3日はひな祭り。五節句の一つで「上巳(じょうし)の節句」ともいいます。江戸時代には幕府の公式な行事でもありました。

この時期、宮中の装束を身にまとった人々が、曲がりくねった小川の所々に座り、和歌を詠む。上手から杯が流れてくる間に和歌を作り、流れてきた杯でお酒をいただき、また次の人へ流す……、といったみやびな情景を、ニュースなどで見たことはないでしょうか。

これは「曲水(まがみづ)「きよくすい・ごくすい)の宴」という上巳の節句にちなんだ行事で、中国から伝わりました。流しびなどという風習もあります。これは、女の子のやくをひなに移し、流して清めるといふ行事です。『源氏物語』にも、人の形をした形代(かたしろ)を流しておはらいをする、という場面が描かれています。

どちらの行事も旧暦(4月)だと、もう少し暖かく水もぬるむ季節なので、イメージが湧きますね。他にも旧暦だと潮干狩りが始まり、ひな祭りの行事食に欠かせないハマグリ(シーズン)。合わせ貝は、おひなさまのように仲むつまじい一対の象徴でもあります。

室礼では、女の子の成長を願って真っすぐな枝ぶりの桃を生けます。小石、ひなあらねなどで曲水を見立て、そこを流れるように杯や流しびなを置き、「上巳の節句」をお祝いしましょう。



※「季節の室礼」は本島をもって終了いたします。

行状: 小林裕美子

J A洗馬に口座開設されている団体の皆さまへ

令和4年がはじまり、各団体とも代表者の変更となる時期となつて参りました。JA洗馬に口座開設されている各団体の代表者の方が変更になった際は、必ず金融部信用課の窓口で変更手続きをお願いいたします。お手続きにはご本人確認が必要となります。詳しくは担当部署までお問い合わせ願います。

金融部信用課 Tel 53-5123



ホッとseba



手作りの一品でお正月を迎えて

J A洗馬農産物加工部会 恒例のお正月用白餅づくり



伝統の正月用白餅づくりの様子
皆さん一生懸命です!

J A洗馬農産物加工部会は、昨年12月24日金曜日から4日間、今年度JA洗馬生活センター内に新設された加工室で、予約注文を受けた正月用切餅とお飾り用餅づくりを行いました。

加工部会による正月餅の販売は、加工室が併設されていた旧JAコープ店舗の取り壊しに伴い製造できなかつた昨年を除き、平成22年から続いており、毎年このお餅を心待ちにしているお客様も多く、今期は切餅5切入りは約640パック、お飾り餅(2段)は約130セットの予約が入り、部員の皆様は年末の多忙の中、息の合った連携プレーで餅づくりの作業にあたりました。

部会長の続木美佐恵さんは、「地産地消を考え、地元洗馬産のもち米中心の無添加のお餅。市販とは違う手作り感を楽しんでもらいたい」と笑顔で話しました。

新年を迎えたばかりと思いきや早や2月。立春を過ぎ、暦の上では「春」といいますが、この信州塩尻はまだまだ寒さが残り、本格的な春と呼べるのはもう少し先となりそうです。皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。

野菜農家の皆様の育苗ハウス内では、早くも春の出荷に向け順調な育苗が進んでおり、すくすくと育つ野菜苗の「緑」は、まさしく「農春到来」を告げるイメージカラーにぴったりだと感じています。野菜農家の皆様には「見慣れた風景」であっても、私のような果樹農家や農業を営んでいない方にとっては、新鮮に映る早春の色。豊かな大地と水、空気で育むこの農の営み、そして色彩は次世代にも残していきたい大切な宝物です。そして、洗馬地区にはこのような自然と調和した美しい農村風景がたくさんあります。

「この美しい風景を生み出す農業を守り育て、そこに住む多くの人々に理解されながら、洗馬という農村が永続的に存立することで生まれる郷土愛。そして、先人から受け継いだあたりまえではない豊かな自然と地域文化への感謝」

洗馬という「地域」、そして「農業」を「誇り」と思える「心の醸成」と、その心が織り成す「協同組合活動の実践」が急務と感じます。

「生産現場における第一線への対応も大切だが、根底にある肝心なことを忘れてはならないか」農業、そして地域を守るには、「主役である農家自身のモチベーション」がなければ、いくら良策を掲げようとも何も生まれません。……この頃思います。「若いも若きも洗馬の組合員農家が、10年後の地域農業のあるべき姿をどのように考えるか」腹を割った話し合いと、そこから「全員」で導き出す「答え」と全員で踏み出す「一歩」が一番必要な時ではないでしょうか。

10年なんてあっという間。まして3年なんて……。そう考えると、「躊躇している暇なんてないじ」と先人の声が聞こえてきそうです。

私たちの「洗馬」のために組合員全員が、そしてまだJAを知らない多くの地区住民の皆様が集い、私たち役員とともに「大切な心さとの風景」を守りつないでいくことが実感できるのであれば、この洗馬の地で生まれる「誇り」と日常への「感謝」につながるのでは……。 (塩)

編集 後記